

表現基礎（描画）

必修

開講年次：1年次前期

科目区分：実習

単 位：2単位

講義時間：60時間

■**科目のねらい**：デザインの基礎となる「見る力」とそれにもとづく「描く力」を向上させ、自己のアイデアを展開し、それらをまとめる力を、ドローイング表現技術の習得を通して学ぶ。

基本的な描画のための道具としての画材の特性を理解し、それをもとに自分の手で描くことでアイデアを展開し、まとめ、伝えるためのツールとしてのドローイングの技術と活用のための手法を体験的に学ぶ。

■**到達目標**：①観察する力とそれを表現する力を身につける。

②段階的プロセスによりイメージした形を的確に表現することができる。

③デザインにおけるドローイングの役割を理解し、ビジュアルなコミュニケーションに活用できる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎若林 尚樹・藤木 淳

■**授業計画・内容**：

つかむ

第1回 描画の基礎1：イメージで描く、見て描く（カイトミル、ミテミル、ミテカク）

第2回 描画の基礎2：線を描く（直線と曲線、そして基本図形）

第3回 描画の基礎3：立体を描く（陰と陰、基本立体を描く）

第4回 描画の基礎4：素材感を描く（硬い素材、柔らかい素材。さまざまな素材）

第5回 作品制作（形をつかむ、素材をあらわす）

あらわす

第6回 線で描く（たくさんの線で描く、一本の線で書く）

第7回 面で描く（面取り、色の組み合わせ）

第8回 点で描く（点描とデジット）

第9回 図形で描く（基本図形の組み合わせで描く）

第10回 作品制作（4つの表現で描く）

ひろげる

第11回 図形をつなぐ1（図形の展開。ルールで描く：ふやす・組み合わせる）

第12回 図形をつなぐ2（図形の展開。ルールで描く：変形する・中間の形）

第13回 形態をつなぐ1（形の展開。ルールで描く：ふやす・組み合わせる）

第14回 形態をつなぐ2（形の展開。ルールで描く：変形する・中間の形）

第15回 作品制作（図形の展開、形の展開）

■**教科書**：授業の中で資料を適宜配布する。

■**参考文献**：授業の中で適宜紹介する。

■**成績評価基準と方法**：出席・授業態度・提出課題の結果を総合して評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度	○	○	○	授業時間を効果的に活用して制作を行う	10
発表	○	○	◎	作品の制作意図などを説明できる	20
作品	◎	◎	◎	出題条件にそった課題作品をすべて提出していること	50
出席	○	○	○	2/3以上の出席が必要	20

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：表現基礎（構成）、表現基礎（製図）

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：デザインを学ぶ上で基礎となる描く力を、さまざまな視点からの体験を通して身につける授業です。

*スケッチブックは指定のものを購入

*鉛筆、ミリペン、コピックなどの描画のための画材は提示する資料を参考に各自が準備する